



がんば 顔晴る企業紹介

矢板市商工会

ウェブを活用して業務打ち合わせ中の木村由貴子代表取締役

商工会には自社の事業を通じて地域に貢献したいと「顔晴っている」会員さんが多くいらっしゃいます。今回は、矢板市にある(株)ブリジックさんの木村由貴子代表取締役（以下、社長）にこれまでの歩みや事業にかける想いなどをお伺いしました。

◇はじめに事業の概要をお伺いします

社名のブリジックは、異文化コミュニケーションの架け橋を目指すことを意味し「一歩先へ、国境を、言葉を、そして文化を越えて」を経営理念に掲げ、2014年に創業しました。現在は、翻訳・通訳サービス事業、人材育成・語学研修事業、労働者派遣事業・有料職業紹介事業を事業の柱とし、専門性の高いスタッフと各分野エキスパートによる社内連携、異文化コミュニケーションに特化したスタイル、機密管理体制を強みとして、県内外のお客様とお取引をさせていただいております。

（次ページへ続く）

株式会社 ブリジック

代表取締役 木村 由貴子

住所 矢板市幸岡1373

電話 0287-55-0011

CONTENTS

- ・顔晴る企業紹介（矢板市商工会） 1・2
- ・商工連臨時総会開催 3
- ・キラリと光るとちぎの企業表彰 4
- ・経営力再構築伴走支援セミナー報告会 4
- ・企業力ランクアップ事業、スローライフ推進事業 5

- ・伴走支援の現場から（芳賀町商工会） 6
- ・小規模事業者持続化補助金レポート（上三川町商工会） 7
- ・県女性連主張発表会 8
- ・商工会からこんにちは（矢板市商工会） 8

■高い専門性を提供

木村社長は、フランス、アメリカへの留学を経て大学卒業後は、高校教員を経て大手家電メーカーや自動車メーカーで学術論文や技術資料の翻訳、外国語講師として勤務した経歴を持つ。生まれ育った矢板の地にご主人とともにUターンし、(株)ブリジックを起業した。主力である翻訳サービス事業では、日本人が翻訳した案件を外国人ネイティブスピーカーが文化的表現を含めてチェック。校正・調整を経て、関連業務に従事した経験を持つ日本人が、業界的な側面から正確性をさらにチェックするという、3段階構えのプロセス



事業フロー

■社員やビジネスパートナーの生き方を尊重、多様な働き方に対応

スを経て顧客に提供される。また、通訳サービス事業では、その催しの規模や難易度によりグレード分けすることで、費用を見える化して提示し、適正・正確な議事録作成も請け負うことで、特に好評を得ている。蓄積された専門知識および技術を駆使し、難易度の高い依頼に応えている。



社内会議の様子（イメージ）

■「点をつなぐ力」好きな言葉と商工会

社員が持つ能力が十分に発揮でき、生産性向上に繋がるよう就労環境の整備にも注力している。創業期に入社し今でも業績への貢献度が高い翻訳者の一人は、障害を持つ方であるという。また、16時頃までの時間帯を中心に自宅等で業務をこなし、夕方からは家事や子育て中心の時間に充てている男性社員もいるという。そして、スキルアップや自己実現ができる、やりがいや社員等の満足度が高いという会社の魅力をウェブサイト等で発信し、優秀な人材確保に繋がっている。社員毎に適正な能力目標設定を行い、採用からキャリアアップ、希望により独立（ビジネスパートナーとなる）までの流れが循環するよう工夫を凝らしている。時代にマッチした仕事のあり方や優しさ、しなやかさが、ブリジックの原動力であり、企業文化の形成に役立っている。

創業期と比較すると、事業毎の売上構成比は変化している。堅調な事業からの利益を、他の事業に投資し次の展開を開始するような流れを繰り返して、全

体の業績を上げてきた。コロナ禍においても業績を維持し、事業を継続できてきた理由の一つに、県や産業振興センター、よろず支援拠点など、各支援機関の支援があった。新しい事業展開を企画したタイミング毎に相談し、考え方などを整理する機会は貴重なものとなり、そのきっかけは、いつも商工会だったという。

木村社長の好きな言葉の一つに、「セレンディピティ 点をつなぐ力」という言葉がある。「補助金活用などを機会に、自社の状況や方向性について意見交換できることが安心感に繋がっている。地域事情に精通し、様々な事業者との接点を持つという特徴を活かし、点と点をつなぐように「出合い」と「ビジネスのきっかけ」という素敵な偶然を運んでくれる商工会は、まさに「矢板版セレンディピティ」のようです」と、その言葉の意味を笑顔で紹介してくれた。

■会社設立の目標と次世代に繋がられるよう、フィールドを広げたい

現在、木村社長は商工会理事のほか、市女性会議のメンバー、

市人権擁護委員、PTAの活動にも従事し、地域を支える活動や提言をされている。今後は語学研修事業を強化する予定だ。国内のお客様が外国語を学ぶだけでなく、外国の人達が日本語や文化を学ぶことができる機会を提供できるよう、事業を再構築する。実現すれば会社設立の目的であった「異文化コミュニケーションの架け橋」に一步步く。高度な専門技術と柔軟な運営で活躍の場を大きく広げようとしている。次世代に繋がる会社を目指し、まだ小さくも情熱あふれる力強い会社（点）が、世界と地域をビジネスでつないでくれるだろう。



栃木県チームイノベーション実践プログラムに参加。ディスカッションで強みを再確認

地区内商工業の改善発達及び 地域振興に邁進

商工連
臨時総会



令和6年度事業計画・予算を決定

会員企業の課題解決を図るべく

「経営力再構築伴走支援モデル」に注力

3月26日、商工連は宇都宮市のホテルニューイタヤで来賓に商工会を支援する会会長の木村県議会議員、久利生県経営支援課長を迎え、臨時総会を開催した。

冒頭、商工連の福田徳一会長は「国が示す『経営力再構築伴走支援モデル』による支援を強化・推進し、会員企業が抱える本質的な課題の解決を図るとともに、『パート



『会員加入促進運動に尽力する』と挨拶する
福田徳一商工連会長

ナーシップ構築宣言』による価格転嫁の促進支援により賃上げにつなげていきたい。また、会員数減少に歯止めをかけるべく『会員加入促進運動』に尽力していく。商工連は、商工会と一致団結して、『地区内商工業の改善発達及び地域振興』に今後も邁進する」と挨拶した。

総会では、野木町商工会の小島三利会長を議長に選出し、第1号議案から第5号議案までを慎重に審議し、全て原案どおり決定した。

令和6年度 重点事項

組織強化、人材育成により商工会力の再構築を図り、企業支援の強化・充実を目指す。

一、企業支援の強化・充実

(1) 経営力再構築伴走型支援等

の推進

- ・ 経営計画策定支援、実行支援
- ・ 持続化補助金、事業再構築補助金、経営革新計画策定等の推進
- ・ ゼロゼロ融資等における資金繰り支援
- ・ 事業承継支援

(2) 会員向けデジタルサービスの推進によるDX支援

- ・ 金融サービスと情報技術を結びつけた記帳自計化の推進
- ・ ホームページ作成サービス「グーペ」等の活用推進

(3) 中小企業・小規模事業者のリスクマネジメント

- ・ 事業継続力強化計画の策定支援
- ・ 経営者等のリスクファイナンスとしての共済制度の普及・推進

二、商工会の組織強化

(1) 会員増強運動（全国連との協働による会員加入促進運動）の推進

(2) 商工会の運営適正化に向けた指導の実施

(3) 支援力強化に向けたチームによる支援体制の構築促進

(4) 商工会への巡回支援の徹底



議長を務める小島三利会長
(野木町)

三、人材育成の強化・充実

(5) 商工会組織としてのDXの推進

(6) 青年部・女性部の育成強化

(1) 職員の公的資格取得支援及び能力強化事業の実施

(2) 職員のコミュニケーション能力向上等の資質向上事業の実施

(3) 職員の適正評価のための人事評価制度の検討

(4) 優秀な人材確保に向けた職員採用制度の検討

四、中小企業・小規模事業者の経営環境整備に向けた要望活動等の実施

(1) 小規模事業者対策に関する各種要望活動の実施

(2) 小規模事業者の負担軽減に関する各種要望の実施

事業者に寄り添った支援を！ 「対話と傾聴」により課題解決へ



報告会では藤本隆幸中小企業診断士が元商工会職員としての経験を活かして講義を行った。

2月9日、商工連は「経営力再構築伴走支援モデル」に基づいた支援事例を発表する「経営力再構築伴走支援セミナー報告会」をホテルニューイタヤで開催した。

「経営力再構築伴走支援モデル」とは、中小企業庁が提示した支援モデルであり、経営者と支援者が丁寧な「対話と傾聴」を繰り返すことで、両者が「本質的な課題」に気づき、納得（腹落ち）したうえで課題解決に向けて取り組む。商工連ではこのモデルを推進すべく、中小企業診断士の藤本隆幸氏、宮本知子氏を講師に迎え、7名の職員を対象に全6回のセミナーを行った。各職員と支援事業者は、対話と傾聴により約半年間にわたり課題解決に向けて継続的支援を行い、企業力ランク

アップシート（事業計画書）を作成した。支援事例発表の概要は以下のとおりである。うつのみや市の金田主事は、女性起業家を支援。同性だからこそ共感する部分が多く、寄り添った支援につながったという。都賀町の森主任は、事業主と後継者の間を取り持ちながら、事業承継を見据えた支援に取り組んだ。那須町の菅原主任は、事業計画の策定は共同製作であり、本音で事業者と向き合うことが大切だと語った。益子町の加藤主任は、参加者へのチャシの配布などで

積極的に事業者をPR。支援の際に「商工会に入って良かったと初めて思えた」と言われたことが印象的だったという。茂木町の星野主任は、売上アップや利益率の改善につながるような提案・取り組みに注力した。壬生町の須釜主任は、商品のPRに悩む事業者にSNSでの発信を提案。発信力の強化に取り組んだ。発表者は皆、「訪問を重ねて対話と傾聴を繰り返すことで、信頼関係が深まった。そ



講評で「AIが導入されても、伴走支援は生身の人間にしかできない」と語る宮本知子中小企業診断士

れにより、事業者に寄り添った伴走型支援につながった」と語った。報告会に参加した多くの商工会職員は、学びを得ようと熱心に耳を傾けていた。

キラリと光るとちぎの企業表彰



(左) サワ精機(株)の大澤宏治代表取締役
(右) (株)池澤設計の池澤達夫代表取締役

ランクアップ事業認証企業から2社が受賞

栃木県による令和5年度「キラリと光るとちぎの企業表彰」が2月13日、県庁昭和館にて行われ、商工連からは、ランクアップ事業認証企業として推薦した、サワ精機(株)(茂木町)と、(株)池澤設計(栗野)の2社が受賞した。本表彰は、人口減少や少子高齢化などの厳しい経営環境にあっても、地域や社会との

関わりを大切にしながら県内産業の振興や持続的発展に貢献し、優れた取り組みをしている中小・小規模事業者が受賞しており、今年で8回目となる。なお、商工会地区では他に、(有)ましろLife(益子町)、(株)仁井田観光(高根沢町)、(株)PROPRE(那須町)も受賞している。

セミナーで学んだ手法を実践し その成果を発表する6名の職員



うつのみや市
金田亜耶乃主事



都賀町
森蓉子主任



那須町
菅原直弥主任



益子町
加藤拓主任



茂木町
星野乃紀主任



壬生町
須釜建主任

(※左から発表順)

商工会認証システム2023

企業力ランクアップ事業から15社が認証



「企業力ランクアップ事業」は日本経営品質賞のアセスメント基準書をベースにした商工会認証システムであり、会員企業の経営品質の向上を目的としている。令和5年12月20日に認証審査会を開催し、厳正な審査の結果、下記の15社が認証された。(更新15件) 認証期間は令和6年4月1日から2年間。

■認証企業の詳細は、上記のQRコードからご覧いただけます。

上三川町	株式会社 ソネッティーク	壬生町	有限会社 マガラ
	株式会社 アール・ティー・シー	藤岡町	株式会社 竹澤ハイドロテック
下野市	神戸化成工業 株式会社	氏家	ヨシ電子 株式会社
うつのみや市	テクノ産業 株式会社		株式会社 伸興建設
	株式会社 デンタルスタジオビッグバン	那須烏山	株式会社 田中電気研究所
栗野	株式会社 池澤設計	那須町	有限会社 高原衣料
益子町	有限会社 ニッテク		株式会社 ミツワパーツ
茂木町	茂木トーヨー住器 株式会社		



とちぎの大地が育んだ“旬の食材”にこだわる 県内65店舗を認定

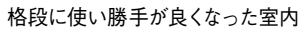
スローライフ推進事業は、①栃木県内で生産された質の良い、こだわりの食材を使用し、地域の料理(郷土料理)を提供している②食材の特長を活かした料理を提供・販売している等の基準を満たした店舗を認定している。今年度は、下記の65店舗が認定された。



■認証店舗のこだわりメニュー、商品は上記のQRコードからご覧いただけます。

矢板市	(有)小野崎糕点	小山市おもいがわ	いちご一会
上三川町	下野屋 豆心		本格手打ちつけうどん 藤工門
	ダンケ		ログレストラン 泰平楽
下野市	下野の駅めし 一休	大平町	(有)みづほ製麺
	中国料理 北昌		精華堂・パティエ
	欧風菓子グリンデルベルグ 自治医大店	藤岡町	みそ工房 蔵
うつのみや市	大黒屋ドライブイン		和クオーレ
	政木屋食品(株)	岩舟町	黒毛和牛専門店 焼肉 松喜
	ブーランジュリ ア・ランシェンヌ		時田くんちのからあげ
栗野	(有)花農場あわの	氏家	和膳処 志生亭
	峠の味どころ 大越路		お食事処 きぬや
	ふる里の森お菓子工房 黒子松屋	高根沢町	焼食のくろちゃん
足尾町	ますや肉店	那須烏山	美喜寿司
	中国料理 栄山		手打そば処 はん田
にのみや	そば処 清流	那珂川町	(有)御前岩物産センター
	(株)二宮金次郎商店(道の駅にのみや)	黒羽	和ら美亭
益子町	カレーキッチン yamani		中華料理 華園
	そば処 炉庵	那須町	那須どうぶつ王国 ヤマネコテラス
	外池酒造店		鉄板焼ステーキハウス きく
茂木町	いい里さかがわ館		ステーキハウス 寿楽 本店
	そば処 おうめ		ミートショップ鶏春
	農事組合法人 そばの里まぎの		フィンランドの森 チーズ工房メッツァナイト
市貝町	レストラン隆	那須塩原市	滝のある釣り堀 那須高原 清流の里
	おやじのハンバーグ LF いちかい		農村レストラン 関の里
	ラーメン工房 くろべえ		(有)菊地市郎商店
壬生町	肉のふきあげ 雅	佐野市あそ	国産うなぎ・黒毛和牛ステーキ うおさだ
	お茶とお惣菜のパオ		手打そば かみやま
	割烹 山水亭		そば処 鈴庵
	(株)北研		そば処 松
	田舎菓子処 増田屋		(有)味噌まんじゅう新井屋
	小山食堂 さくら		木村屋だんご 道の駅どまんかたぬま店
小山市おもいがわ	(有)渡辺精肉店	足利市坂西	(有)小島東洋堂
	小曾根精肉店		

小規模事業者持続化補助金レポート



■補助事業の内容

れ、取り組むことになった。

藤本オーナーは「商工会に

が、よだれ鶏や本格的なコース料理も人気が高く、地元だけでなく県外からもお客様が訪れる。

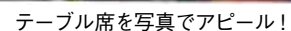
■持続化補助金活用のきつかけ

■補助金を活用した効果

藤本健太郎オーナー（左）と商工会の藤波主任（右）

したか

常連さんに喜ばれたのはもちろん、ご病氣等で足を伸ばしづらい方々など多くのお客様から反響があった。チラシをきっかけとした問い合わせも増加し、販路開拓に繋がった。テーブル席の導入と宣伝手法がマッチし、大きな効果もたらされた。



商工連	足利市坂西	佐野市あそ	佐野市あそ	湯津上	西那須野	那須塩原市	那須塩原市	那須町	那珂川町
安納和俊	糸井彩子	金子尚世	野澤慎一	伴真砂美	角田幸絵	戸崎亮	安納千景	津久井はるか	八島満彦
益子町	足利市坂西	大平町	栗野	湯津上	那須町	那須塩原市	那須塩原市	那須塩原市	那珂川町

矢板市 上三川町 下野市 うつのみや市 粟子町 益貝町 市貝町 壬生町 石橋町 都賀町 氏家 那須山 足利市坂西 商工連

関谷村 堀木越 黒藤彩乃 加藤綾乃 手嶋洋輔 黒須直樹 浅野雅文 五ツ川ひなた 早瀬雄介 伴藤菜月 齋藤涼介 益子凌空 定方宏介 福田裕作

福祉共済の 請求忘れはありませんか

福祉共済には「けが」、「病気」「がん」などの補償があります。

「けが」の補償は、仕事中のけがだけでなく、日常でのけがにも対応しており、通院は、3日目から1日単位で請求することが可能です。事故が発生した際は、商工会にご相談ください。

■「けが」の補償の主な支払い事例■

- 仕事中、脚立から転落し、頭を打って、
頭蓋骨を骨折。



シニアプラン加入

62日間入院で
300,000円
お支払い

※シニアプランの入院は3日目から補償

- 風呂場で足が滑り転倒。
足の捻挫と打撲、切り傷。



シニアプラン加入

58日通院と手術で
109,000円
お支払い

- 道路を歩いていた時に段差に気付かず転倒。
足首を骨折し、
足首を32日間ギプスで固定。



2,000円コース加入

ギプス30日分と
12日通院で
126,000円
お支払い

※ギプス固定をした場合も、30日を上限に通院扱いとなります。
(ただし、固定部位に条件あり)

- 階段を下りる途中で踏み外し
左膝を強打。
膝の打撲と捻挫で接骨院に32日通院。



2,000円コース加入

通院30日分
で
90,000円
お支払い

※接骨院・整骨院での柔道整復師による施術も通院の対象となります。
(ただし、支払い日数限度あり)



前列左から、那須町の高久副部長、三森県女性連会長、最優秀賞を受賞した高根沢町の菅野副部長、青木商工連専務理事、小山市おもいがわの小曽根部長、後列左より、大平町の福富部長、市貝町の小川部長

県女性連の主張発表会

菅野安子副部長(高根沢町)が最優秀賞

2月14日、県女性連(三森節子会長)による主張発表会が、宇都宮市文化会館小ホールにて開催された。

県内の各ブロックから選ばれた5人が出場し、高根沢町商工会女性部副部長の菅野安子さんが最優秀賞を受賞した。

菅野副部長は、「商工会女性部が目指す住みよいまちづくり」と題し、女性部員が楽しく活動できるような運営を心掛ける。

菅野副部長は、7月9日に宇都宮市で開催される関東ブロック大会に栃木県代表として出場する。

菅野副部長は、7月9日に宇都宮市で開催される関東ブロック大会に栃木県代表として出場する。

商工会からこんにちは

矢板市商工会



▲左から、
最前列：石井副会長、東泉会長、代田副会長
2列目：阿部理事、横田主任、鈴木主事、
荒井課長、斎藤局長
3列目：沼尾主事、関谷主事補、福田課長

◆皆様に、商工会をもっと身近に感じていただけるよう、県内各地の商工会をご紹介します◆

当商工会では、起業家の育成や商業活性化のために、「経営(創業)塾」や「まちなかゼミナール」を推進していきます。「経営(創業)塾」と連動した「矢板市商工会創業者等助成金」交付事業を引き続き実施し、新規事業者増加に向けて取り組みます。

また、県内トップクラスの出店者数を誇る「軽トラ市」は、旧シャープ事業所跡地に場所を変更し、「やいた楽市楽座」として生まれ変わります。今年度は5月26日(日)に開催し、「能登半島地震」

商工会では新規会員を 募集しています

是非、
お仲間をご紹介ください。
詳しくは、最寄りの商工会まで
ご連絡ください。

復興支援として、石川県能登町商工会が復興店舗として参加することが決まりました。今後も小規模事業者の持続的発展や課題解決のために寄り添った事業を行い、小規模事業者並びに地域の発展に寄与していきます。